



室戸の春、満開の桜と大漁の鯊。

室戸 むろと

春ぶり

高知県
室戸岬
直送!!

『春が旬』室戸の春をお届けします。

【ブリを獲って100年!】

高知県の東、黒潮が流れる室戸沖はブリ、サバ、アジなどが回遊する日本でも屈指の好漁場。地元の漁師は100年以上前から船で10分ほどの海に「大敷網」という網をしかけて漁を続けてきました。この大敷網で一番たくさん獲れるのはブリ。なかでも3月から5月にかけて獲れる春のブリは北の海で産卵のために栄養を蓄え回遊してくるので、地元でも一番脂がのるといわれており、科学的な調査でも立証された折り紙つきです。

【漁師「押し」の逸品!】

「室戸の春のブリを味わってほしい!」という想いから、地元の大敷網の漁師は春のブリが獲れる時期に「室戸春ぶり宣言」をお知らせし、7キロ以上のまるまる太ったブリを厳選して「室戸春ぶり」として皆様に提供いたします。脂のつた「室戸春ぶり」を食べて、ぜひ室戸の春を実感してください!

